

家族会活動 10年のあゆみ

おたがいに支えあって！

～ 夢を形に ～

NPO法人いわて脳外傷友の会イーハトーヴ

堀間 幸子

命は救っていただいたが・・・

息子の交通事故



変わり果てた我が子



ナントかしなければ、*どこに相談すれば？*

同じ思いの仲間たちとの出会い

- 支援者との出会い
- 相談会
- 原因は違っても症状は似ている
- 家族の思いは共通
- 自分だけ、我が家だけではない
- 共感できる仲間がいた！！

家族会アンケートの結果

主な共通点

- 1、障がいを当事者も家族も受容できない
- 2、復学・復職しても、うまく継続できない。
- 3、当事者の居場所、活動の場がない。
- 4、家族、介護者が疲れ果てている。
- 5、平均年齢32歳

DVDで振り返る10年の歩み

岩手県の特徴

- 「行政（岩手県福祉総合相談センター）が家族会結成に大きく関わった」
＜ 平成16年6月 ＞
 - 高次脳機能障害脳機能障害者・その家族を支える会の結成
代表 いわてリハビリテーションセンター 高橋明センター長（現理事長）
名誉顧問 岩手医科大学 小川彰 学長（現理事長兼学長）
＜ 平成16年11月 ＞
 - 任意団体 いわて脳外傷友の会イーハトーヴ設立

たくさんの支援者と共に

家族会 / 支援者が

WIN / WINの関係で

第20回いわて脳損傷リハビリ講習会



平成26年12月1日

「いわて脳損傷リハビリ講習会」

当事者と家族が「これから先」を語っている場面

10周年記念式典の様子



～10年後の自分～

平成26年12月1日

10周年記念式典の会場において
アダージョの利用者の皆さんが
「10年後の自分」を書いて
式典参列者にアピールしました。

式典では・・・こんなことも・・・県の福祉担当課長さん方・・・支援を約束しました。



↑
ご列席の県幹部職員から「今後の支援について」
決意表明をいただきました。

↓
決意表明を見守るイーハトーヴ関係者
(左から)東川理事長、小川岩手医大理事長
村田リハセンター医師、代表ほか



ピアサポーター養成講座 H26年度





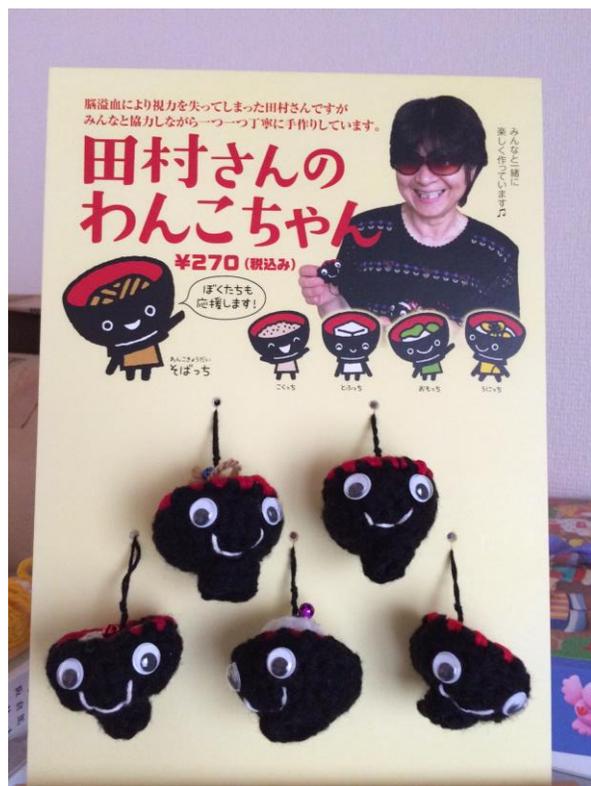
アダージョ商品

> 和洋菓子 <



アダージヨ商品

< 手工芸 >



今後に向けて ～ 当事者達は ～

10年後の自分

- ★ フライングデスクでパラリンピックに出場する。
- ★ 腹筋を6つに割る。
- ★ 一般就労して親から自立する。親孝行する。
- ★ 70歳までに「パーラーひだまり」を作る。
- ★ 体力が続くまで働いて妻をいたわる。
- ★ ボランティアで町内会に奉仕する

何歳になっても健康で現役でいたい！

今後に向けて ～ 家族会は ～

熟年家族 / 新米家族

WIN / WIN



共感できる場・人さまのお役に立てる幸せ

ご静聴ありがとうございました。

夢を形に・・・



リハせんべい